ファニーずによる「家読（うちどく）おすすめ本」

（令和６年度版）令和７年3月作成・東海村立図書館編

【未就学児向け】

NO.	対象	書名	作者	出版社	本の紹介	請求記号（縦サイズ）
1	0~2歳	**かぜのうた**	フィリップ・ジョルダーノ/絵 さわべまちこ/文	ポリフォニープレス	春・夏・秋・冬と、季節が変わると同じように、聞こえる風の音が、様々な歌のように聞こえてくるこの作品。風の歌と聞いてどのような歌を想像するでしょうか。様々な風の音を、小さなお子さんでも真似をして楽しめるように、わかりやすい言葉で作り上げられています。日本ならではの四季を、風の音と共に感じて楽しめる一冊です。	Eカ（21cm）
2	0~2歳	**きんぎょがにげた**	五味太郎/作	福音館書店	金魚鉢にいた１匹の金魚が逃げて、お部屋のカーテンに隠れたり、キャンディーの瓶の中に隠れたりといろいろな所に隠れている金魚を子どもと一緒に探しながら楽しめる絵本になっています！	Eキ（22cm）
3	0~2歳	**こんた、バスでおつかい**	田中友佳子/作絵	徳間書店	ひょっとした間違いからお化けのバスに乗り込んでしまったキツネのこんた。こんたの気持ちになって読み進めていきます。ドキドキがとまりません！	Eコ（31cm）
4	0~2歳	**す～べりだい**	鈴木のりたけ/作絵	PHP研究所	いろいろな面白い滑り台が続々と登場し、わくわくがとまらなくなります！こんな滑り台すべってみたいなぁーと思える一冊です。	Eス（21cm）
5	0~2歳	**ねずみさんのながいぱん**	多田ヒロシ/作	こぐま社	題名にあるとおり長いパンを持ってどこかに向かって走っているねずみの表紙から始まります。いろんな動物とその動物そっくりのお家が出てくるのが可愛いです！子どもと一緒にページをめくって、何の動物の家かな？など子どもに聞きながら子どもと一緒に楽しめる絵本になっています。	Eネ（20cm）
6	3歳	**あたまのなか** （かがくのとも特製版）	高橋 悠治/文 柳生 弦一郎/絵	福音館書店	頭の中はどうなっているのか、知りたいと思いませんか？頭の中を開けてみると脳はありますが、何を考えているかということは見えません。私たちの日常の行動と脳が行っている活動がどのように結びついているのか、考えれば考えるほど不思議な気分になっていきます。	Eカラダ・カガ（26cm）
7	3歳	**どうぞのいす**	香山美子/作 柿本幸造/絵	ひさかたチャイルド	相手を思いやる気持ちを知り、自分も優しくなれるような絵本です。動物たちの優しさが感じられてほっこりします。秋の時期に特に読みたくなりますね。よかったら一度お家で読んでみてはいかがでしょうか。	Eド（25cm）
8	3歳	**パンどろぼう**	柴田ケイコ/作	KADOKAWA	パンが好きなパンどろぼうのお話！パンを盗んでいたのはなんと…！？パンどろぼうがおじいさんと出会って盗むより作る方がいいと改心していくお話！シリーズになっていて色んなキャラクターが出てきて楽しい物語です。	Eパ（25cm）
9	3歳	**わにわにのおふろ**	小風さち/文 山口マオ/絵	福音館書店	ワニの動きにユーモアがあって思わず笑ってしまうような絵本です。３歳児クラスの子供たちが大好きで繰り返し読みたくなっています。言葉の響きが面白く、絵本の内容を覚えて口ずさむ子がいるほどです。親子で一緒に読んでみてください。	Eワ（22cm）
10	4歳	**からすのぱんやさん**	かこさとし/絵と文	偕成社	くずみがもりという場所にカラスの親子が住んでいました。４羽のカラスたちの意見を聞いて、おもしろくてステキなパンを作っているとお店は大繁盛‼　１９７３年刊行以来のロングセラーの絵本です。	Eカ（26cm）
11	4歳	**ぐるんぱのようちえん** （こどものとも傑作選）	西内みなみ/さく 堀内誠一/え	福音館書店	【子どもと大人で感じ方が変わる絵本①】子どもたちはみんな「ぐるんぱのようちえんにいってみたい！」と心躍らすことでしょう。大人は、ぐるんぱの頑張りや健気さ、失敗も失敗でなくなる、いつか花開くお話に子育てのヒントがもらえるのではないでしょうか。	Eグ（19cm）

【未就学児向け】

NO.	対象	書名	作者	出版社	本の紹介	請求記号（縦サイズ）
12	4歳	**はじめてのおつかい** （こどものとも傑作選）	筒井頼子/さく 林明子/え	福音館書店	子どもと大人で感じ方が変わる絵本②】子どもたちは自分と同年齢の女の子みいちゃんが、はじめてのおつかいをする様子に、ドキドキハラハラ…絵本を見終えたあとにはきっとそれぞれに思いを巡らせることでしょう。おつかいに行きたくなる子もいれば、絵本の中のこまかな絵を楽しむ子…楽しみ方はそれぞれで良いのです。ちなみに私はいつも読み聞かせをするときに、涙がこぼれないよう我慢するのに必死です。	Eハ （20㎝）
13	5歳	**みえるとか　みえないとか**	ヨシタケシンスケ/作 伊藤亜紗/相談	アリス館	囚んなの当たり前は違う。「同じところを探しながら違うところを面白がればいいのか！」という言葉に心動かされます。そんな意識を子どもの頃からもつことで、もっともっと心に余裕ができ、温かい世界になるかもしれないですね。多様性や一人一人を尊重することを知るきっかけとなるような絵本です！子どもも大人もぜひ読んでみてください！	Eミ （26㎝）
14	4歳	**めっきらもっきらどおんどおん** （こどものとも傑作選）	長谷川摂子/作 ふりやなな/画	福音館書店	主人公のかんたがお宮にある大きな木の根っこの穴から落ちて訪れた国は、なんともへんてこな世界でした。そこの住人と仲良くなったかんたは時のたつのを忘れて遊び回ります。けれどもすでに夜。遊び疲れて眠った三人のそばで、心細くなったかんたが「おかあさん」とつぶやくと・・・	Eメ （20㎝）
15	5歳	**おおきくなるっていうことは**	中川ひろたか/文 村上康成/絵	童心社	おおきくなるって子ども達はどんな風に感じているのでしょうか。誕生日が来るたびに聞く「おおきくなったね」という言葉。この絵本はおおきくなるってことを一緒に考えてくれます。おおきくなるって「うれしい」そんな気持ちの芽生えを感じられます。大人も子どももほっこりできる一冊です。	Eオ （21㎝）
16	5歳	**けんかのきもち**	柴田愛子/文 伊藤秀男/絵	ポプラ社	友達とのけんか。色々な場面や状況のけんかがありますが、幼児期において誰もが経験することをテーマに気持ちの葛藤を描いた絵本です。主人公の男の子の勝てない悔しさ、味方になってくれない怒り、仲直りしたい照れ臭さなどその時々の気持ちが登場人物との関わりによって分かりやすく描写されています。「けんか」を通して自分の気持ちと向き合うことの大切さ、相手の気持ちを考える大事さを知ることができる一冊だと思います。	Eケ （25㎝）
17	5歳	**スイミー**	レオ・レオニ/作 谷川俊太郎/訳	好学社	誰もがうっとりする水彩の美しい絵の中に、あっという間に引きこまれる物語です。印象に残るシーンはクライマックスではないでしょうか。でも、何度も読み返すと気付くことがあるのです。スイミーが一人ぼっちで海の中を泳ぎ、様々な出会いを経験します。今まで群れの中で、みんなの価値観で見ていたものが、一人になって自分の目で見た時に、その壮大さ迫力、美しさなどに気付き、自分の殻を打ち破り、調和の中で個性を発揮するという矜持を示しました。子ども達に、そして大人に対しても「自分の目で見て感じること」の大切さを訴えているのではないでしょうか。作者の絵本の作り方に哲学を感じる、この良作を私の一押しの一冊に推薦します。	Eス （28㎝）